授業コード：1320500

授業科目	ジェンダー論					単位	2
履　　修	選択	関連資格				ナンバリング	TO10105J
開講年次	3・4 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1		
担当教員	倉富　史枝						
授業概要	ジェンダーとは「文化的・社会的に作られた性別」であることを理解し、歴史的に組み込まれたジェンダー構造の課題とその解決を考える。日本は、先進国の中では男女平等が遅れている状況にあり、この理由を考え、自分の生き方と結びつけて、学問や社会への批判的な視点を獲得することを目的とする。学際的学問としての女性学の成果に基づき、社会学の枠組みでジェンダーをめぐる諸問題を概説する。						
学生が達成すべき行動目標	現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題を歴史的、構造的、国際的に理解している。 現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題を資料から読み取り、今後の解決につなぐ社会政策のあり方に意見を述べることができる。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	30	0	10	0	100	
知識・理解（DP1-1）	40		10				50	
知識・理解（DP1-2）								
知識・理解（DP1-3）								
知識・理解（DP1-4）								
思考・判断（DP2-1）	20		15		5		40	
思考・判断（DP2-2）								
関心・意欲（DP3-1）			5		5		10	
関心・意欲（DP3-2）								
態度　（DP4-1）								
態度　（DP4-2）								
態度　（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）								
技能・表現（DP5-2）								
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル
1. ジェンダー論の基本的な知識をよく理解し、日本の現状と課題を歴史的に国際的に比較して考察できる。 2. 講義の内容について、人に正確に説明できる。	1. ジェンダー論の基本的な知識、日本の現状と課題を理解している。 2. 講義で得た知識を人に説明できる。

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ：ジェンダー論の意義 ジェンダーの視点が発見した社会構造を解説する。	講義	復習：当該部分の復習	45

2	テーマ：子どもの社会化とジェンダー 生まれる前から方向づけられる女の子らしさ／男の子らしさについて解説する。	講義	復習：当該部分の復習	45
3	テーマ：教育のプロセスにおける性差別を考える 教育環境に組み込まれたジェンダー秩序が個性の発揮を阻害してきた歴史と今後の教育のあり方について考える。	講義	復習：当該部分の復習	45
4	テーマ：言葉が開く新しい社会 「女言葉」の起源とともに言葉がもたらす抑圧性と創造性を解説する。	講義	復習：当該部分の復習	45
5	テーマ：ジェンダー化された「遊び」 脳に関する俗説による偏見がなぜ根強いのかを遊びを通して解説する。	講義	復習：当該部分の復習	45
6	テーマ：友人関係とジェンダー 友人とのつながり方の男女差について社会構造から解説する。	講義	復習：当該部分の復習	45
7	テーマ：恋愛の起源と多様化 ロマンティックラブイデオロギーの起源と同性愛が容認されつつある世界的潮流から恋愛の多様化を解説する。	講義	復習：当該部分の復習	45
8	テーマ：デートDVとは デートDVとは何かを視聴し、防止のためにできることや尊重し合える関係についてジェンダーの視点で考える。	講義 映像視聴とレポート	復習：当該部分の復習	90
9	テーマ：家族の近代化と多様化 「近代家族」が家族政策の標準となった経緯と、現状の家族の多様化をデータから解説する。	講義	復習：当該部分の復習	45
10	テーマ：労働におけるジェンダー格差 M 字型就労、マミートラック、非正規雇用のあり方について解説する。	講義	復習：当該部分の復習	45
11	テーマ：ファッションと社会 服装が社会的に規制された社会的構築物であることと自由を獲得する手段としての服装について解説する。	講義	復習：当該部分の復習	45
12	テーマ：戦争・軍隊と女性の権利 近代国民国家を形成するために必要とした軍隊のあり方を確認し、女性の及び男性の権利を考える。	講義	復習：当該部分の復習	45
13	テーマ：グローバリゼーションがもたらす新しい世界 ケアを中心としてジェンダー化が国境を超えている現状をデータで確認し、国家間の経済格差の問題を解説する。	講義	復習：当該部分の復習	45
14	テーマ：家族的責任から考える人間らしい働き方 家庭におけるケア役割が尊重される働き方としてディーセントワーク（人間らしい働き方）を考える。	講義 映像視聴とレポート	復習：当該部分の復習	90
15	まとめ 日本のジェンダーギャップ指数向上ために求められること	講義・試験	復習：当該部分の復習	60
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	中学校の公民、高校の現代社会、家庭科などで学んだ「男女共同参画社会」「男女雇用機会均等法」などの知識。
テキスト	伊藤公雄/牟田和恵編著『ジェンダーで学ぶ社会学　全訂新版』世界思想社、2015 年
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書 　岩間暁子他『問いから始める家族社会学－多様化する家族の包摂に向けて』有斐閣、2015 年 上野千鶴子『女たちのサバイバル作戦』文春新書、2013 年
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	現状を表すデータや資料から現状を読み取る力を身につけ、「当たり前」「昔から」「常識だから」と思っていたことが自分の生き方を縛っていたのではないかなと考える機会にしてください。また、ジェンダーに関連するメディアからの情報を適切に判断するよう努めてください。そして、自分の考えを多くの人と語り合ってより深めてください。
達成度評価に関するコメント	試験及び小テストの内容については、授業の中で指示します。